

Magic eDeveloper V10.1 における  
SkyPDFPro2 for MAGIC マルチスレッド版（以下 MT 版）の動作確認

株式会社マイクロリンク  
2008 年 3 月 26 日

はじめに

このドキュメントは、SkyPDFPro2 for MAGIC MT 版（Version2.13）を WindowsServer2003R2 で、Magic eDeveloper V10.1（以下 MagicV10.1 と表記）SP2aPT2 で動作させた場合の確認テストの結果について記述したものです。

動作環境

CPU：Intel® Pentium® 4 2.80GHz

メモリ：512MB RAM

OS：Microsoft Windows Server 2003 R2 Enterprise Edition Service Pack 2

Magic：MagicV10.1 SP2aPT2

SkyPDF：SkyPDFPro2 for MAGIC MT 版（Version 2.130076.00）

検証結果

以下の留意事項を除き、正常に動作することを確認しました。

印刷形式は GUI のみです。SkyPDFPro2 for MAGIC では TEXT 形式をサポートしておりません。

留意事項

**Magic タスク特性 並行実行パラメータ**

MagicV10.1SP2aPT2 は正常に動作しますが、動作後に「アプリケーションのリソース待ちです」と Magic が表示出力します。

並行実行機能について、リソース待ちのため、PDF は並行して作成されません。並行実行パラメータを指定しなくても、SKyPDFMT 版の機能によりマルチスレッド動作いたします。

MagicV10.1SP2aPT1 以前（SP2a を含む）のバージョンは正常に動作しません。

**画像の PDF 化**

解像度が 600dpi 以上でないと、PDF 内の画像が青色になることがあります。

推奨の設定として解像度 600dpi（初期値）、テキストとラインアートの圧縮 ON（初期値）、ASCII フォーマット OFF（初期値）、ダウンサンプリング補間方法バイキュービ

ック 300dpi( 初期値 ) カラー / グレースケール画像圧縮 On( 初期値 ) 圧縮方法 **ZIP**、  
白黒画像圧縮 On ( 初期値 ) 圧縮方法 Zip(初期値)にしてご確認ください。

### **表示項目の切れ**

印刷フォーム上のコントロールに対して、「サイズ調整」機能でコントロールのサイズを調整しても、印刷時にコントロールの上下左右の余白が若干不足する場合があります。今回の検証にあたり、Ricoh imagio Neo C245 との出力結果比較を行いましたが、ほぼ同じ結果となりました。( 幅が不足する場合は同等に不足し、余る場合は同じように余ります ) すなわち、通常のプリンタに印刷するのと同じ注意点となります。

### **実行アカウント**

MRB をサービスから起動し、MAGIC エンジンが MRB から自動起動になっている場合、実行アカウントがローカルシステムアカウントになっています。そのままですとその MRB から起動される MAGIC エンジンのアカウントはローカルシステムアカウントとなり、SkyPDFPro2 のプロパティを設定した内容が反映できません。

詳細および対応策につきましては、別紙 SkyPDFPro2forMAGICMT 版利用時の MAGIC エンジンの実行アカウントについて.PDF をご覧ください。( このドキュメントの後半に付録しています )

### **補足事項**

今回の動作検証は、Microsoft Windows Vista での動作検証ではございません。  
SkyPDFPro2for MAGIC は Windows Vista で動作しませんのでご了承ください。  
MagicV10.1EnterpriseServer( WindowsServer2003 )での利用を目的とした検証です。  
MagicV10.1 Studio を Windows Vista でご利用の場合、SkyPDFPro2forMAGIC MT 版は利用できませんのでご了承ください。

WindowsVista 対応のため、SkyPDFPro3 クライアント版を発売予定ですが、次の点で MT 版との違いがありますのでご了承ください。そのため、実働環境での十分な検証をご検討ください。

- ・ マルチスレッド対応での動作( クライアント版はマルチスレッド機能は使えません )
- ・ 印刷イメージが SkyPDFPro2 と SkyPDFPro3 では異なることがあります。
- ・ プリントドライバー名が違います。
- ・ その他、細かな違いがあります。
- ・ SkyPDFPro3 クライアント版は、サーバーOS へインストールできません。

## Version2.13 のご提供について

保守の有無、製品のバージョンにより以下ようになります。

製品バージョン	保守期間	対応
SkyPDFPro2MT ( V2.x )	契約中	保守範囲内にて提供 ( 費用はかかりません )
SkyPDFPro2MT ( V2.x )	契約外	保守期間切れからの年数分の保守料と追加 1 年間の保守契約にて対応
SkyPDF Std/Pro M T ( V1.x )	契約中	バージョンアップにて対応可
SkyPDF Std/Pro M T ( V1.x )	契約外	新規ご購入

### ・手続き

- ・ Version2.x のお客様で保守契約期間中のお客様には、必要事項を記入の上、[support@microlink.co.jp](mailto:support@microlink.co.jp) までお送りください。有効な保守契約書 No が確認できない場合、お送りできません。

#### 記入事項

件名 : SkyPDFPro2 for MAGIC MT 版 V2.13

- 1 . お名前
  - 2 . ご住所
  - 3 . お電話番号 / FAX 番号
  - 4 . 保守契約書 No. ( 必須 )
  - 5 . E-mail アドレス ( 必須 : このアドレスにモジュールをお送りいたします。 5 MB 程度の受信が可能なアドレスを指定してください。 )
- ・ Version1.x もしくは、保守期間外のお客様は、下記アドレスまでお問い合わせください。  
契約期間等、ご不明な点は、[support@microlink.co.jp](mailto:support@microlink.co.jp) までお問い合わせください。

以上

## SkyPDFPro2 for MAGIC MT 版利用時の MAGIC エンジンの実行アカウントについて

株式会社マイクロリンク

2008 年 3 月 27 日

### はじめに

このドキュメントは、SkyPDFPro2 for MAGIC MT 版（マルチスレッド版）を利用する際の MAGIC エンジンの実行アカウントについて記述したものです。

### 対象製品

- ・ SkyPDFPro2 for MAGIC MT 版

### 発生現象

MAGIC エンジンの実行アカウントが正しくない場合、SkyPDFPro2 のプロパティが正常に反映されません。

よって、次のような現象が発生します。

- ・ 解像度が正しくない。
- ・ 画像が正しく表示されない（もしくは画像が荒くなる、汚くなる）
- ・ セキュリティー（パスワード）すかし、署名が正しく設定されない。
- ・ 印刷設定の内容が正しく反映されない。（保存されていないように動作する）

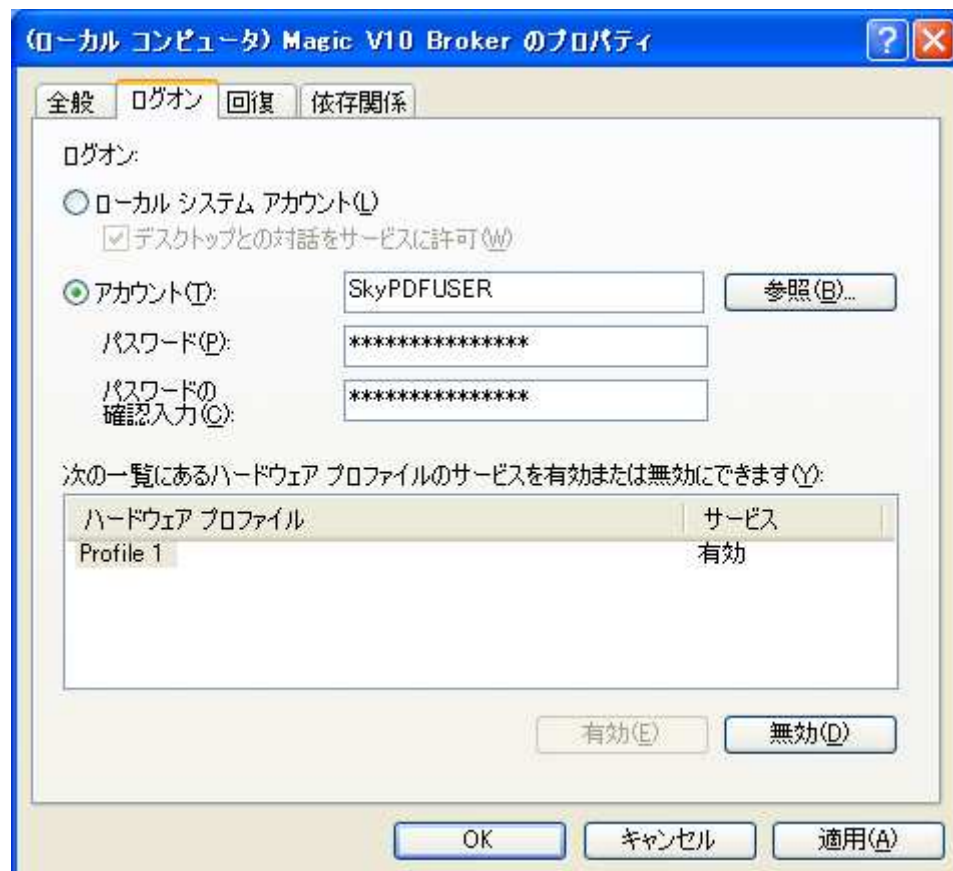
### SkyPDFPro2 のプロパティの設定について

SkyPDFPro2 のプリンタドライバのプロパティはプリンタのプロパティの印刷設定から設定できます。この設定情報は、ログオンしているユーザごとに設定が行われます。MAGIC サーバーを利用するとき、MAGIC エンジンを実行するアカウントで、SkyPDFPro2 のプリンタプロパティを設定してください。他のユーザで設定した場合、設定が反映されません。また、MRB をローカルシステムアカウントで実行し、MAGIC エンジンを MRB からの自動起動に設定している場合、SkyPDFPro2 のプリンタプロパティはどのユーザの設定も反映されず、SkyPDFPro2 の初期の値になります。

### MRB および MAGIC エンジンの実行アカウントの設定について

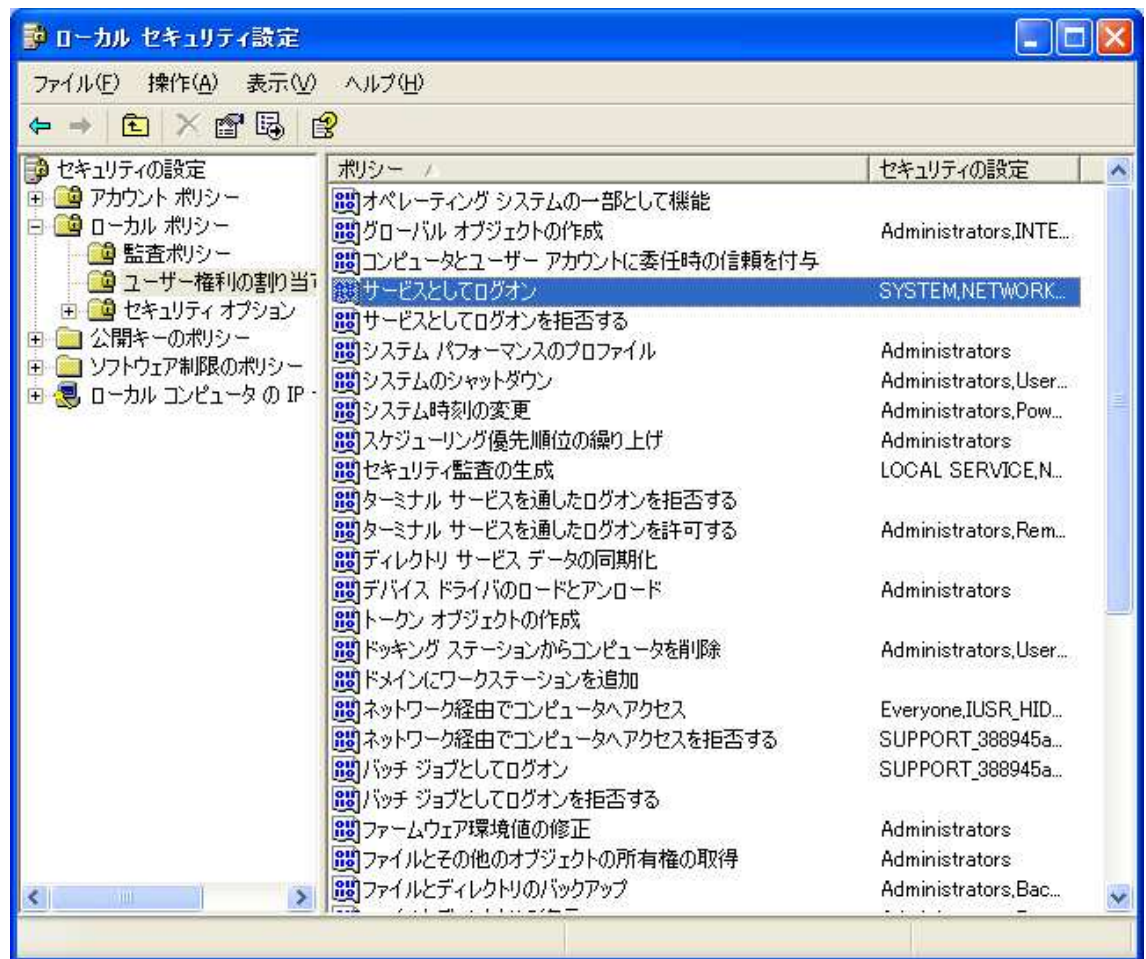
MRB（Magic V.x Broker）がサービス起動されていて、かつ MAGIC エンジンが MRB から自動起動される場合。

MRB のサービスのログオンのアカウントをローカルシステムアカウントではなく、SkyPDFPro2 ドライバ（プリンタドライバ）を設定したアカウントに変更してください。



上記画像の SkyPDFUSER（ユーザ名）は例です。

つぎに、必要に応じて、ローカルセキュリティポリシー（コントロールパネル 管理ツール）を起動し、「サービスとしてログオン」に、さきほど設定したユーザアカウントを追加します。



追加は、サービスとしてログオンをダブルクリックし、設定画面が表示されますので、追加ボタンから処理してください。

すでに登録済のグループに先ほどのユーザアカウントが所属している場合には設定する必要はありません。

次に、mgrb.ini を開き、

V10.x の場合、

[APPLICATIONS\_LIST]

```
;MyApp1 = eDevRTE.exe /DeploymentMode=B /StartApplication=[ecf file name and path],C:¥Program Files¥Magic¥Studio V10,..,0
```

V9.4Plus の場合、

[MRB\_EXECUTABLES\_LIST]

```
Background = MGENW.EXE /ApplicationStartup=B,C:¥Program Files¥Magic¥eDeveloperPlus,..,0
```

のそれぞれ、右から 3 つ目<ユーザ名>と 2 つ目<パスワード>を設定するところを空白にしてください。

以上で設定は完了です。

MRB がサービス起動されていて、MAGIC エンジンが MRB から自動起動されない場合。( MRB と MAGIC エンジンが分離している場合を含む )

MRB の実行アカウントは初期値から変更する必要はありません ( ローカルシステムアカウントでも可 )。MAGIC エンジンの実行アカウントを SkyPDFPro2 のプリンタプロパティを設定したユーザに設定してください。

MRB がサービス起動されていない場合。

MRB および MAGIC エンジンの実行アカウントを SkyPDFPro2 のプリンタプロパティを設定したユーザに設定してください。

#### 補足

MAGIC エンジンの実行アカウントを変更すると、プログラムの実行権、ファイルへのアクセス権、共有フォルダへのアクセス、PervasiveSQL へのアクセスなどに影響がでることがあります。MAGIC の実行アカウントの設定はこれらも加味してユーザを設定してください。

以上